

他県の先進事例

都道府県名	事業名	事業内容
新潟県	休日広域検診事業	これまで乳がん・子宮頸がん検診を受診したことがない者を対象に、休日・予約不要・買い物ついで(大型商業施設で開催)・ワンコイン(500円)で受診可能な検診イベントを開催し、まずは1回受診してもらうことにより、以後の継続受診に向けた意識付けを図る。
長野県	がん検診市町村間相互乗入れ制度	がん検診の受診を希望する者が、住所地以外の市町村の医療機関でもがん検診を受診できる体制を整備する。
愛知県	女性に特有のがん対策推進事業	大学との共催により子宮頸がんについての講演会を開催。また、希望する県内大学を対象に、子宮頸がんの啓発資材を配布。
京都府	ステキ女子のからだメンテプロジェクト	検診啓発への協力等を行う「応援団体」(複数組織から成る)を発足。協力の上、イベント・啓発活動を実施。
	①生命(いのち)のがん教育推進プロジェクト事業 ②市町村休日総合がん検診支援事業 ③乳がん検診管外受診制度 ④がん検診商業施設活用モデル事業	①医療従事者とがん経験者が小・中・高校等へ出前講座を実施。 ②休日に総合がん検診を実施した市町村に対する補助 ③管外で乳がん検診を受診できる制度 ④気軽に立ち寄れるコンビニの駐車場でがん検診を実施
兵庫県	企業における女性特有のがん検診受診促進事業	中小企業を対象に、乳がん検診、子宮頸がん検診を受けた社員及びその被扶養者の自己負担を企業が補助した場合に、その経費の一部を県が補助する
和歌山県	がん対策推進事業	県内大学の授業や大学祭において、子宮頸がんの啓発まんがを配布し啓発
広島県	「Team がん対策ひろしま」推進事業	がんの予防、検診、患者団体支援、就労支援に取り組む「Teamがん対策ひろしま」登録企業の拡大を図るとともに、その取組を支援し、地域全体でのがん対策を推進する。
佐賀県	子宮がん検診広域化事業	市町が実施する子宮がん検診の対象者が、居住する市町を超えた県内全域の医療機関において子宮がん検診を受診することができる。
	佐賀県職域大腸がん検診促進事業	職域の健康診断等に併せて市町の大腸がん検診を受けることができるようにし、働く世代の大腸がん検診を促進する。市町のがん検診であるため県の予算としてはチラシ印刷や県の非常勤職員の人件費等のみ
福岡県	がん検診受診率向上対策事業(福岡県働く世代をがんから守るがん検診推進事業)	「働く世代をがんから守るがん検診推進事業」の登録事業所における取組を支援し、県全体の受診率向上を図る。
茨城県	企画提案型がん対策推進事業	民間団体が実施する、がん患者や家族の支援につながる取組を公募し、審査委員会の審査を経て選定された事業に対し補助する。
長野県	がん患者への就労支援推進事業	拠点病院へ社労士を派遣し、がん患者とその家族に対する就労相談支援を行う。
福井県	がん患者相談支援推進事業	拠点病院以外の身近な地域にまちなかがん相談窓口を開設し、「定例出張相談」、「定例出張サロン」、「ピアサポート勉強会」、「ホスピタル・プレイ・スペシャリスト派遣」を実施。
奈良県	がん患者サロン運営者会議	拠点病院等のがん患者サロン運営者会議を開催し、より県民のニーズに合ったサロン運営に繋げる。
	保健所でのがん患者サロン、講演会の開催	県保健所(3か所)において、がん患者サロンや講演会を通じて、拠点病院のがん相談支援センターの周知を図る。
島根県	がん関連図書等整備事業	県立図書館などのがん関連図書コーナー等を整備
福岡県	がん患者就労相談支援事業	がん患者に対する就労相談に社会保険労務士が対応する。

【山梨県「がん対策に関する取組等についての調査」抜粋】